

## 2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 1 月 13 日作成)

小委員会名	大振幅予測地震動に対する耐震設計法検討小委員会	主 査 名：壇 一男 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：宮本裕司
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>大振幅予測地震動に関する検討を行い、従来の耐震設計法を見直す。</p> <p>初年度：・地震荷重小委員会で提示された課題の整理 ・東北地方太平洋沖地震の地震動と建物被害の検討</p> <p>2 年度：・南海トラフの三連動地震の地震動の試算と建物の応答解析</p> <p>3 年度：・南海トラフの三連動地震の地震動の試算と建物の応答解析 ・荷重指針の構成の勉強会</p> <p>4 年度：・上町断層地震に関する成果の指針化 ・南海トラフの三連動地震に関する成果の指針化</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：壇一男 (清水建設) 幹事：石原直 (建築研究所)、土肥博 (NTT ファシリティーズ) 委員：石井透 (清水建設)、上林宏敏 (京都大学)、岡野創 (小堀鐸二研究所)、永野正行 (東京理科大学)、西澤崇雄 (日建設計)、林康裕 (京都大学)、司宏俊 (東京大学)、土方勝一郎 (芝浦工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	南海トラフ巨大地震に対する耐震設計検討WG：南海トラフの巨大地震を対象に既存建物および現行法で設計された建物の耐震安全性を評価する。	
2015 年度予算	560,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認 企画	1. シンポジウム「東日本大震災から 5 年 — 建築振動工学の到達点と残された課題」 (振動運営委員会全小委員会で共同) 参加者数 195名 『同名資料』
大会研究集会	1. PD：大振幅予測地震動を耐震設計にどう取り込むか 参加者数 359名 『構造部門(振動)パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 免震小委と振動制御小委と地盤震動小委に名古屋および大阪における南海トラフの巨大地震の予測地震動を提供した。 2. 名古屋における地盤モデルおよび代表的超高層および免震建物のモデルを作成して、応答解析を行った。 3. 建築物荷重指針の構成について調査・議論した。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員数に余裕があるため、若い人を新委員の候補に選ぶ。